

アジアにおけるハイパー スケールデータセンター

デジタルの最先端をかけた競争

このガイドブックでは、アジア太平洋地域におけるハイパースケールデータセンターの必要性の考察、この地域で飛躍的な成長が見込まれる理由、経験豊富なハイパースケールデータセンターと提携するメリットについて解説します。

はじめに:かつてない成長が見込まれる市場

コロナの影響でオンラインのクラウドベースサービスの需要が急速に増えたことで、ハイパースケールデータセンターの必要性はデータセンター市場を変革し続けています。しかし、パンデミックが始まる以前から、データセンタープロバイダーが提供するハイパースケールソリューションの競争は激しくなっていました。

厳しいビジネス環境において、企業とハイパースケール・クラウドサービスプロバイダー(CSP)は、すべての成長が見込まれる機会や地域を考察する必要があります。多くのCSPにとって、アジア太平洋地域は未開拓であり、新規顧客、投資、ビジネスチャンスが見込める魅力的な市場と言えます。

ハイパースケールデータセンター の必要性が高まっている理由

アジア太平洋地域は、様々な要素により金融、IT、電気通信、サービス型ソフトウェアなどの一流企業が注目する市場となっています。



デジタル改革

近年、この地域全体でのデジタルサービスの需要が急速に増えてきています。スマートフォン技術の普及により、ゲームやライブ配信、オンライン・バンキングのサービスなどの需要が急増加しています。2025年までにはアジア太平洋地域の81%の人々がスマートフォン¹を所有すると予想されており、このトレンドに更なる拍車をかけることになるでしょう。

クラウドプロバイダーはこの地域で2桁成長を遂げています。これは、中間層、世界的なインターネットアクセス、SNSアプリ、スマートシティ、企業のビッグデータに対する意欲の増加が要因とされます。そして、これらの顧客にリーチするため、企業とCSPは大規模なデータセンターの建設に投資をしています。



文化的な変化

不可欠なクラウドベースのサービスやアプリが増加したことで、顧客と企業の双方でクラウド技術の受容と信頼が急速に進んでいます。IDC²による保守的な見解によると、2023年までに、アジア太平洋地域全体でパブリッククラウドに36%の複合成長が見込まれています。この力強い成長は、Amazon、Microsoft、Alibabaなどの大手企業によるクラウドテクノロジーとこの地域における展開戦略によって、企業のアウトソースへの許容度が高まっていることによるものです。



新型コロナウイルス

アジア太平洋地域の一部では、保守的な地元文化により、新たな技術の可能性が証明されるまで、受け入れに消極的である傾向にあります。パンデミックの影響でこのような地域でも変化が起こり、技術がもたらすメリットを目の当たりにしたことで、デジタルへの投資が活発化しました。実際に、パンデミックの影響³でアジア太平洋地域の69%の企業がデジタル化を強化していると認めています。しかし、今はこのデジタルへのシフトをサポートするキャパシティを構築している状態です。そのため、企業がいち早く市場にリーチし、ビジネス拡大のサポートを行う新たなハイパースケールデータセンタープロバイダーが台頭しています。

1 <https://www.statista.com/statistics/1128693/apac-smartphone-adoption-rate/>

2 <https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=AP44698619>

3 https://www.cisco.com/c/en_au/solutions/small-business/digitalmaturity-2020.html

アジア太平洋地域でハイパースケール データセンターパートナーに投資するメリット

アジア太平洋地域は、強力で確実な顧客層が狙える市場へと成長してきました。この地域のデジタル顧客層は急速な成長を遂げており、競争力のある企業にとって無視できない存在となっています。これは、インドのような発展途上の市場と同様に、日本のような成熟した市場にも当てはまります。必然的に、今後はアジア太平洋地域に住む顧客の割合がさらに高くなるでしょう。これに伴い、企業は十分な容量のデータセンターを保持し、シームレスで低遅延な体験を提供できなくてはなりません。

しかし、収益性の高い新しい市場が存在するにもかかわらず、企業は他の地域と比較して低コストでこれらの機会を利用できます。2008年の金融危機以降、多くの欧米諸国で地価が急騰しました。データセンターのスペースは飽和状態となって供給が不足し、新しい建設プロジェクトや拡張のコストが上昇しています。

対照的に、アジア太平洋地域の大部分の地価は安定しており、はるかに安価でデータセンターの建設することができます。

この地域の最後の利点は、豊富な専門知識と利用可能なインフラストラクチャです。各ロケーションの違いは明白ですが、この地域には世界最大の最も洗練された供給レベルとパートナーネットワークがあります。専門の請負業者とインテグレーターのコミュニティの支援により、ハイパースケールデータセンタープロジェクトは確実に予定どおりに予算内で稼働することができます。

Colt DCSと 提携するメリット

Colt DCSは、アジア太平洋地域におけるハイパースケールデータセンターソリューションのパイオニアの1つです。現在もこの業界の先駆けとなり、日本最大のデータセンターの1つを運営していることに加え、近々ムンバイにてインド最大級の施設の1つを完成させる予定です。

2014年、Colt DCSは、東京に本社を置く統合データセンターおよび通信サービス企業であるKVHを買収しました。これにより、Colt DCSは、地域的および技術的な専門知識を得て、インフラストラクチャと設備を確立し、大規模なダークファイバーネットワークへのアクセスを実現しました。

印西キャンパス

Colt DCSの印西キャンパスには、3つのハイパースケールデータセンターが配置されており、日本で建設された最大のデータセンター施設の1つとなっています。30,000m²の床面積にわたって合計50MWのIT電力を誇るこのキャンパスは、最もダイナミックで最先端のサービスを顧客に提供し、インフラストラクチャのニーズをサポートすることが可能です。

2020年11月、キャンパス内で3つ目施設となる印西3が新たにオープンしました。印西3は、日本市場におけるクラウドベースのソリューションの需要が高まったことから、このニーズを満たすために建設されました。印西キャンパスは、需要に応じてマルチキャリアコネクティビティとクラウドアクセスを提供し、優れたコネクティビティのオプションにより、冗長性の向上と最適な稼働時間を実現しています。

Colt DCSと 提携するメリット

Colt DCSと提携すると、既存のハイパースケール施設の1つを使用する場合や、まったく新しい施設を建設する場合でも、多くのメリットがあります。

規模と供給電力

Colt DCSのハイパースケール施設では、インフラストラクチャのニーズが需要とともに変化するに伴い、規模を自由に拡大また縮小することができます。MWレベルでIT電力を提供するこの施設は、最も効果的な供給密度とPUEレベルでインフラストラクチャに電力を供給することができます。

拠点

世界でも有数の大都市に建設されたColt DCSのハイパースケール施設は、コネクティビティのニーズを満たし、的確なサポートを行うことができます。これには、接続された他のデータセンターへのアクセス、主要なキャリアホテルへの複数の多様なルート、または高度な光ファイバー回線へのアクセスが含まれます。

グローバルサポートと統合

ハイパースケールデータセンターの要件は、多くの場合、技術設計から運用および調達に至るまでビジネス分野の枠を越えたチームに影響を受けます。Colt DCSは、多言語でのサポートが可能なグローバルプロジェクトチームにより、アジア太平洋地域のこれらすべてにアクセスすることができます。顧客は、コンサルティング、設計、構築、運用とプロジェクト後のサービス管理に至るまで、完全なパッケージにアクセスできます。

京阪奈データセンター

Colt DCSの大阪京阪奈ハイパースケールデータセンターは、2022年末に完成する予定となっており、40MWを超えるIT電力を15,000m²にわたって供給する予定です。施設の設置は段階的に実施される予定であり、最初の段階では4.8MWのIT電力を1,800m²にわたって供給するように設定されています。

Colt DCSと 提携するメリット

安定性と信頼性

Colt DCSは大手金融投資企業によってサポートされています。同社は、すべての顧客関係は、顧客のセキュリティに基づく長期的な投資であると考えています。

サステナビリティ

Colt DCSは、環境的および社会的責任を果たすよう努めています。可能な限り再生可能エネルギーを使用して多くのハイパースケール施設に電力を供給し、コスト効率が良く信頼性の高い商用サービスを提供して、顧客の持続可能性の目標をサポートします。

中立性

すべてのColt DCSのハイパースケール施設は、キャリア、クラウド、IXに対して完全にニュートラルな立場で運営しています。これにより、コスト効率の向上、冗長性の改善、最適な稼働時間、また、要求に応じて利用可能なマルチクラウドアクセスが提供されます。

ムンバイデータセンター

多くの再生可能エネルギーを動力源として100MWのIT電力を62,000m²にわたって提供するこのハイパースケール施設は、2022年初頭の完成と同時に、インドで最大のデータセンターの1つになります。Colt DCSは、インドの未だかつてないモバイルインターネットの普及とデータ消費の拡大をサポートするために、この国のデータセンター市場に参入しました。ナビムンバイの一等地に建てられたこの施設は、すべての顧客のコネクティビティのニーズに対応し、周辺の他のデータセンターや主要なキャリアホテルへ多様なルートから簡単にアクセスすることができます。これは高度の光ファイバー回線加へのアクセスに加え、高品質のコネクティビティを実現します。

おわりに： デジタルの最先端

アジア太平洋地域には、収益性の高いハイパー
スケールデータセンター施設をサポートするた
めに必要なすべての要素が整っています。需要と
世界有数の企業が集中している極めて重要な
市場と言えるでしょう。そのうえ、データセンター
の展望が形成期にある間は、投資する機会がま
だ多く残されています。

もちろん、データセンターの実現にはリスクがつ
きものであり、企業がコンフォートゾーンから抜
け出して、現地での関係を築かなくてはならない
場合もあります。企業は、地域の専門知識とグロ
ーバルな技術的能力を提供する実績豊富なハイ
パースケールデータセンターパートナーと确实
に連携することが大切です。Colt DCSは、アジ
ア太平洋地域の独自の課題を乗り越えながら、
その可能性を活用するお手伝いをします。インフ
ラストラクチャ、パフォーマンス、専門知識を提供
することで、迅速で持続可能な事業の拡大をサ
ポートします。

チャイナモバイル・ インターナショナル

グローバル通信プロバイダーのチャイナ・モバイル・インターナショナル(CMI)は、日本での電気通信サービスをいち早く確立するために、日本でデータセンターオペレーターを探していました。またCMIは、従来のコロケーションデータセンターにはなかった、急速な事業拡大に適した設備を必要としていました。

ここで、Colt DCSのハイパースケールが活躍します。Colt DCSの印西3は、CMIが日本市場に参入するために必要としていた容量と拡張性を提供しました。その結果、CMIは設備とサーバー用に500m²のデータホールと総電力密度約1.65MWの電力を確保することができたのです。



CASE STUDY



“「私たちはグローバル通信会社ではありますが、ビジネスを拡大する上で世界各地の企業と協力していくことは不可欠です。だからこそ、Colt DCSをとっても貴重なビジネスパートナーだと考えています。Colt DCSからの協力を得ることで、インフラストラクチャーや電力容量、リソースを確保できます。その為、事業を展開する地域やマーケットに関わらず、今後もお客様のご要望と共に成長できると確信しております。」

ビリー・ワン氏 - チャイナ・モバイル・
インターナショナル、ソリューションマネージャー

ハイパースケール データセンター拠点


ヨーロッパ

フランクフルト西部
ロンドン北部
ロンドン西部
パリ南西部
ロッテルダム

アジア

ムンバイ
大阪京阪奈
印西キャンパス
(印西 1, 2, & 3)

お問い合わせ先

 +81-3-4560-7100

 dcsinfo@colt.net

 www.coltdcs.jp

 Colt Data Centre Services

 @ColtDataCentres

 Colt Data Centre Services

規模はデータセンターの要です。

Colt データセンターサービスはハイパースケールの専門家です。1992年から20年以上にわたり、データセンターの設計、建設、運用に携わってきました。

グローバルとローカルの両方を考慮して、ヨーロッパとアジア太平洋に複数の施設を持っています。

クライアントのインフラストラクチャのセキュリティを最優先事項と考え、24時間年中無休のの有人セキュリティからインテリジェントセキュリティ監視システムまで完備しています。

当社の100%キャリアニュートラルなコネクティ

ビティソリューションは、需要に応じてグローバルおよびマルチクラウドプラットフォームへのアクセスを提供します。

私たちは、ハイパースケールを提供します。

© 2021 Copyright Colt Technology Services. The Colt name and logos are trademarks. All rights reserved.

Accreditations
ISO 27001, ISO 14001

colt
Data Centre Services